



ルー
テル

藤が丘だより

発行 月報委員会

発行日 2024年3月3日

No. 118

わたしの後に従いたい者は、
自分を捨て、自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい。

マルコによる福音書 8章34節 ・ 新共同訳



わたしの隣人に対して、一人のキリストになろう

行って、あなたも同じようにしなさい。

ルカによる福音書 10章37節

ルター派キリスト教会 日本福音ルーテル藤が丘教会 牧師 佐藤和宏
〒227-0043 横浜市青葉区藤が丘 2-31-21 tel 045-973-2729/ fax 045-439-7009
URL:<https://www.jelc-fujigaoka.org/> mailto: fujigaoka@jelc.or.jp



今日、私たちに対して、主イエスは言われています。「わたしの後に従いたい者は、自分を捨て、自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい」と。

「自分の十字架を」と言う場合、「私が負わなければならない、私の重荷」「罪」と考えるでしょう。あるいは、主イエスのように十字架への道を歩むということのように思われるでしょう。しかし、どうもちがうと思えてならないのです。なぜなら私たちは誰一人として、たとえ自ら十字架の死をもってしても、誰かの罪を赦すどころか、自分の罪の赦しをもたらすことはないからです。ですから、今日、私たちが招かれているのですが、それは、キリストがこの私の罪の赦しのために、十字架の死を遂げられたのだという事実を他の誰かではなくこの私のものとして、当事者意識をもって、主イエスに従うということです。

さて、四旬節第 2 の日曜日に選ばれた詩編は、詩編 22 編 24-32 節になりますが、次のように言われていました。「主を畏れる人々よ、主を賛美せよ。／ヤコブの子孫は皆、主に栄光を帰せよ。／イスラエルの子孫は皆、主を恐れよ。」

ご存知のように詩編 22 編は「わたしの神よ、わたしの神よ。なぜわたしをお見捨てになるのか。なぜわたしを遠く離れ、救おうとせず／呻きも言葉も聞いてくださらないのか。」と始まっています。十字架の上で、主イエスが大声で叫ばれた言葉として有名です。この言葉を耳にする時、人は十字架の上で主イエスは、神に助けを求め、しかし聞いてもらえず、いよいよ死を間近に控えていると思うのです。神に見捨てられた一人の男が、無

惨な死を迎えようとしているとしか映らなかったのです。

詩編 22 編は確かに「わたしの神よ、わたしの神よ。なぜわたしをお見捨てになるのか」と始まり、キリストも十字架の上でそのように叫ぶのですが、4 節では「だがあなたは、聖所にいまし／イスラエルの賛美を受ける方」と言われ、6 節になると「助けを求めてあなたに叫び、救い出され／あなたに依り頼んで、裏切られたことはない」と続いているのです。つまり人の目には絶望と思われる状況のただ中であって、「しかし」と神の御心に目を向け、固く信頼しているのです。こうして先に触れましたように、今日の詩編の箇所における「主を賛美せよ」「助けを求める叫びを聞いてくださいます」とつながっていくのです。絶望と思われる状況の中に置かれたからこそ、「しかし」という信頼は、賛美、感謝へとつながっていくのです。

それでは、主の招きは、十字架の主と同じように「しかし」と神に目を向けて生き始めることでしょうか。そうではなく、私たちは、毎週礼拝の場に集められ、繰り返して、罪を思い起こして告白し、罪の赦しをいただいて、御言葉によって新たに生きるのです。

これこそ「自分の十字架を背負って、従う」という生き方なのであり、私たちはこのようにして、主と共に生きようと、今日もあなたの罪のために、十字架の死を遂げられた主は、罪人のままの私たちを招いておられるのです。私の罪を改めて思い知らされ、その罪が一方的な恵みのうちに赦されたという自分の十字架を背負って、主と共に歩んでまいりましょう。（四旬節第 2 主日）

●冥福を祈りつつ 名○○安

2023年5月頃電話がありまして、教会の高齢者を集めて「祈る会」をいたしましよとのお声かけがありました。コロナ禍も第5類となり、皆様に声かけをしようと考えておりましたところに突然の訃報、心が痛みました。○野○江姉の病が重症とは知らずにしばらくしたら元気になられて礼拝に「こんにちは」と来られると信じていました。私は神様に“どうしてですか？”“ご計画がわかりません”とせまりました。神様は、ローマの信徒への手紙8章28節「万事が益となるように共に働くということを、わたしたちは知っています」を示してくださいまして、これから○野姉を通してなされた神様の御業を私たちは知ることになると信じて、心静かに待ち続けることしかありません。

○野姉は昭和の牧師夫人で、牧師先生を支え労苦をいとわず、必要なポイントポイントで信徒のカウンセラー役、お母さん役、教師補助役、相談役と、多方面の働きをいとわずこなし、信徒と牧師の接着剤役を果たして来られた方です。純真無垢な信仰者である姉は、教会の信徒やミッションの方々と正面から向き合い寄り添った方です。ので、その経験豊富な知恵と信仰に裏打ちされた伝道意欲は、私のような愚うたら信徒には思いも及ばない、超俗な広い知識をお持ちでしたので、折に触れて励ましを受けていました。姉の葬儀時、江藤先生の説教を聞き納得致しました。教会の内外での活動でも、「我がごまると」の方であったことを知らされました。私は○野姉が召天された今になって、もっと積極的に姉から指導を受け、たくさんのお話を学ぶべきだったと後悔しています。幾度も、これからの教会のため世界伝道のため一緒に祈って欲しいとお誘いがありましたのに、時間が取れず実現しませんでした。召天された今は残念に思っています。もっと一緒に

に祈りたかった、語りたかった、本当に心残りがします。どうか、御国で安らかでありますように祈ります。地にある我々のためにとりなしていただきますように。

●○○野○江さん ○井○子

女性会総大会が名古屋で開催された時、ご一緒に参加しましたよね。ホテルのお部屋も同じ、ゆっくりお話ししましたね。

牧師夫人としての○江さんと、牧師の娘として育った私との教会生活の違いがおもしろく、語り合い、気がつけば12時過ぎていましたね。

○江さんは宣教師になりたかった夢がおありで、キリスト者として女性の立場の弱さ貧しさなどに目を向けられ、宣教活動を続けられたお働きに頭が下がりました。

天国でお会いした時に、またお話の続きをしましょうね。

●○○野夫人を偲んで 永○○子

○野夫人をお見送りしてから、大きな支えを失った淋しさ、悲しさは日毎強くなっています。

大きな存在でした。その信仰、行動、情熱にお話しを伺うたびに、圧倒されたことを思い出します。

昨年7月にふたりでランチをしたのが、ゆっくりお話した最後になりました。

その時は、いつもと違って少しお元気がなく、年をとったと気弱な発言をなされたので、私が「先日こんな失敗をしてしまったの」と言うと「そうなの私も」とうれしそうに笑われ、「お互い年をとりたくないわね」と。でも最後には、教会と女性会のこれからのことについて、心を痛め、真剣に考えて、ご意見をおっしゃっていました。○野夫人らしいと……。

あの時のお言葉のひとつひとつを私は胸に深くきざんでいます。

●女性会だより

2月18日 14名出席

司会、祈り ○谷姉

讃美歌 510番(教団讃美歌)

1 聖書の学び

マタイによる福音書 12章2節

安息日について

麦の穂をつんで食べても良いが、鎌は使わない。鎌を使うと仕事と見なされ、安息日違反となる。

人間は禁止をする事が好きであり、責めたくなり、自分が正しいと思いがちだが何が一番大切であるかを見落とさない。

意見と批判の線引きをすることで物事にあたり、共に作りあげていく。

2 女性会例会

2月10日に開催された女性会総会の報告/女性会の人数登録について

3 今後の予定

3月1日 世界祈禱日東京集会

日本基督教団阿佐ヶ谷教会 13時半～15時半/関野和寛牧師

YouTubeでの配信あり

6月7-8日 第25期連盟総大会

東京教会 宣教100年記念会堂

なお、愛餐会は1日目の総会終了後にバトール東京で開催。

総大会参加希望者は、3月初めまでに山○姉に連絡をする。

次回例会は3月17日

●教会用語 Q&A

Q 「兼牧」とは何ですか？

A 「兼牧」とは、例えば二つの教会を一人の牧師が牧会することです。牧師不足が著しい現状にあって、首都圏でも兼牧の教会がみられるようになって来ました。

今月、受洗記念日を迎えた方々

5日 田○○一郎兄、田○○るみ姉

22日 ○山○子姉

23日 津○○子姉

26日 ○谷○介兄、○本美○子姉

31日 ○井○樹兄、○谷○美姉

おめでとう
ございます。



わたしの隣人に対して、一人のキリストになるう

「行って、あなたも同じようにしなさい。」

ルカによる福音書10章37節

●藤が丘教会の情報は、右のQRコードから



●世界祈禱日礼拝 ○野智○子

3月1日、やわらかな陽射しの午後、東京地区の世界祈禱日礼拝が阿佐ヶ谷教会(日キ)でもたれました。会場参加117人、YouTubeで同時配信。今回の当番はルーテル教会で、メッセージャーは津田沼教会の関野牧師でした。今年の礼拝式文作成国はパレスチナで、テーマは「あなたがた勧めます、…愛をもって互いに忍耐しなさい」。2年前に式文が提出されて各国で翻訳・編集されましたが、現状を憂慮した国際委員会(WDP)代表から急遽、特別メッセージと祈りが世界配信されたそうです。“知ることから祈りへ、祈りから行動へ”というWDPの基本に則り、パレスチナの歴史を学び、中東のメロディで讃美し、パレスチナと世界の平和を祈りました。



スマートフォンで、こちらのQRコードを読み込むと、教会のさまざまな情報を、確認出来ます。